

下妻特別支援学校 交流だより



令和元年度第1号

『交流及び共同学習』とは、誰もが互いに人格と個性を尊重し会える共生社会の実現を目指すために、障害の有無に関わらず、児童生徒あるいは地域社会の人たちが触れ合い、ともに活動する機会を設けることを目的としたものです。

これらの交流は本年度前期に下妻特別支援学校で実施したものです。それぞれの交流において、児童生徒一人ひとりが主体的に活動し、地域社会の人たちと交流を進めることができました。

令和元年9月6日

上妻小学校との学校間交流

6月24日(月)に本校小学部3・4年と、上妻小学校3年50名の児童が、学校間交流を行いました。両校の児童で4グループに分かれ、「学校探検」を行いました。どのグループも協力して校舎内6箇所に設置された場所を探してキーワード『ずっとなかよし』を完成させることができました。また、「なかよしゲーム」では、徐々に緊張がほぐれていく中で、タンブリンが鳴った数ごとに手をつないでなかまを作り、賑やかな雰囲気の中で過ごすことができました。



下妻第二高等学校との学校間交流

5月23日(木)に下妻二高 JRC 部 49名と本校高等部 34名で、第一回スポーツ交流「レクリエーションボッチャ」を行いました。互いの学校において、交流の目的を事前に学習して臨みました。当日、本校の生徒は、進んで話しかけたり、応援の声をかけたりしていました。また下妻二高生は、率先して補助具を持ってきて、一緒にスポーツを楽しむ姿が見られました。笑顔がたくさん見られる交流になりました。



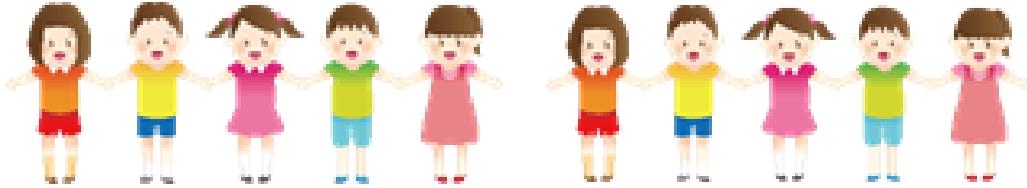
居住地校交流

今年度の居住地校交流は、小学部の13名の児童のみなさんが取り組んでいます。

交流地域別にみると、今年度は、筑西市が一番多く4名となりました。古河市と坂東市が各2名、桜川市、結城市、つくばみらい市、守谷市、そして今年が初めての境町で各1名ずつとなっています。

小学部1年生も2学期から交流を予定しています。

居住地校交流は、小学部・中学部の時にしかできない交流です。卒業後、地域で暮らしていくときに向けて、地域のお友だちと交流することは大切なことであると考えます。募集は年1回となっていますが、ご希望のかたは、次の募集時にぜひ、お申込みください。



地域交流・花いっぱい活動

第1回は5月20日(月)、第2回は6月27日(木)、下妻市青年会議所、下妻市婦人会上妻支部、下妻市社会福祉協議会のボランティアの皆さんと花植えの交流をしました。第1回はマリーゴールド、第2回はポーチュラカとメランポジウムの苗と一緒に植え、楽しく活動することができました。花を植えたプランターは下妻市役所や郵便局、道の駅など、公共の施設に設置しました。暑さに負けず、元気に咲いてくれたら嬉しいです。



地域交流・かみつま朝市

7月28日(日)に上妻市民センターにて『かみつま朝市』が行われました。「心の輪を広げ 上妻家族でやさしいまちに」をスローガンに地域住民の交流を目的として開催されました。買い物やワークショップ、ゲーム等が行われる中、本校の児童生徒の作品も展示させていただきました。小学部2名、中学部2名、高等部2名の絵画を地域の方に見てもらいました。

